

# しんでん 神殿に そなえる

教会機関誌

シャーロット・ラーカバル

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

「あなたがたは、ふさわしいじょうたいですべてのことを行い  
【なさい】。(モルモン9:29)

アジアンは、ドアをノックする音を聞いてにっこりと笑顔  
になりました。マッダ(ママ)が特別な家庭の夕べのため  
にミニスタリングブラザーをしょうたいしたのです。

ミニスタリングブラザーの兄弟がドアを開けました。「ワー  
グワーン、ウィリアムズ兄弟!」(「元気ですか?」)

「エブリティング・イズ・イリー!」ウィリアムズ兄弟が言いま  
した。(「すべて順調ですよ!」)ウィリアムズ兄弟はアジアンに、  
家の木からもいできたマンゴーの入ったふくろをわたしました。

ウィリアムズ兄弟がソファにすわります。マッダがアジアン  
の妹のダナに、おいのりをするよう言いました。

ダナがおいのりを終えると、ウィリアム兄弟が言いました。  
「今年、アジアンは12才になりますね。だれか、今年がアジ  
アンにとって特別な年である理由を知っていますか?」

アジアンのおとうと、アジヤンの弟のテジャンが、こうふんして体をゆらします。  
「神権をもらって、せいさんを配るから!」

「そのとおり!」ウィリアムズ兄弟が言いました。「でもね、  
もう一つ別の理由があるんですよ。」

ウィリアムズ兄弟はさいふを開けると、小さな紙を1まい取  
り出しました。「これは神殿すいせんじょうです。」

ウィリアムズ兄弟がアジアンに手わたしました。

◆「わたしに従ってきなさい」の教義と聖約 124 章参照

「すざい!」アジアンはすいせんじょうにえがかれた金色の  
神殿の上に指をすべらせました。「これは何をすものです  
か?」

「神殿のフロントデスクにいる人に見せるんです。これは、  
わたしが中に入るにふさわしいということを証明してくれる  
んです。」

「わたしも見たい!」ダナがアジアンからすいせんじょうを  
取ると、じっくりとながめました。

「自分のすいせんじょうをもらったら、どんな気持ちにな  
ると思いますか?」ウィリアムズ兄弟がたずねました。

「特別な気持ちがするだろうな!」アジアンはすいせんじょう  
から目を上げました。「でも、ぼくは神殿に行けるかな。  
神殿に行く飛行機のチケットはすごく高いし。」

「わたしもあまりひんぱんには神殿に行けません」とウィ  
リアムズ兄弟が言いました。「けれどすいせんじょうは、い  
つでも神殿に入れるようにそなえておくべきことを思い出さ  
せてくれるんです。」

アジアンは少し考えてから、「ぼくもそなえたいな」と言  
いました。「どうすればすいせんじょうをもらえますか?」

「まずビショップに会いに行きます」とウィリアムズ兄弟  
が言いました。「じゅんびができていのかどうかをかくにん  
するために、ビショップからいくつか質問をされます。」

「つまり、テストみたいなものですか?」アジアンが少ししん

ぽい記そうにたずねます。

「テストというより、会話のようなものです。」とウィリアムズ  
兄弟は言いました。「ビショップはみんなの友達だし、みんな  
がそなえるのを助けたいと思っっているんです。」

アジアンはうなずきました。アジアンはビショップが好きで  
した。

「質問を見えますか?」ウィリアムズ兄弟がアジアンに、い  
くつかの質問が書かれた紙を手渡しました。ダナとテジャン  
も、質問を見たくてアジヤンの周りに集まります。

「1番」とアジヤンが読み上げます。「あなたは永遠の父なる  
神とその御子イエス・キリストとせいれいに対して、信仰と  
あかしを持っていますか?」

アジアンはうれしくなりました。これは簡単です。「持って  
ます!」

アジアンは質問を一つ一つ読んでいきました。マッダとウィ

イラストレーター: ナターシャ・C・C・ニール



「どうすればすいせんじょうを  
もらえますか?」と  
アジアンはたずねました。

リアムズ兄弟が、ところどころ意味を説明してくれました。

そして、アジアンはまた別の質問を読み上げました。「知恵  
の言葉について理解し、それにしがっていますか?」アジ  
ヤンは顔をしかめました。「前にダンドレの家に行ったとき  
に、ラムパンチをもらったんです」とアジヤンが言いました。  
「だけど、もう二度と飲みたくない。これはつまり、ぼくは神  
殿すいせんじょうをもらえないってことなんですか?」

「知恵の言葉を守るというのは、アルコールを飲まないとい  
う意味で、ラムパンチにはアルコールが入っていますね」と  
ウィリアムズ兄弟が言いました。「けれど、人はいつでもくい  
改めて、神殿に入るにふさわしくなることができるんです。」

「イエス様のおかげでね!」とテジャンが言いました。

「そのとおり!」ウィリアムズ兄弟が言いました。「その後  
は、神殿すいせんじょうが思い出させてくれるんです。知恵  
の言葉にしがたい続けること、そして、いつでも神殿に行け  
るようそなえておくことをね。」

アジアンはにっこりと笑いました。  
気分がぐっとよくなりました。

「そのうち神殿に行けるかもしれな  
い」とアジヤンが言いました。「そ  
してそのときには、ぼくはちゃんと  
じゅんびができてます!」●

このお話の舞台はジャマイカです。